



議会だより



No.203

2025.2.15

わーがー

令和6年12月定例会

決まったこと 補正予算・主な質疑 >>> P.2

条例改正他 >>> P.3

一般質問 4人が町政を問う >>> P.5

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.10

私の推し 写真家 伊東ひさしさん >>> P.12

長年の夢が実現
鷲峰山トンネル
まもなく開通します

令和6年度
補正予算

健康福祉交流センター整備に伴い 駐車場と町道中溝学校線を改良へ

○一般会計補正予算	9,250万円
○国民健康保険特別会計補正予算	158万円
○介護保険特別会計補正予算	400万円
○簡易水道事業会計補正予算	
・水道事業費用	18万6,000円
・資本的収入・支出	各1,200万円
○下水道事業会計補正予算	
・下水道事業収益	99万8,000円
・下水道事業費用	84万3,000円

第4回定例会を12月11日と19日に開催し、令和6年度補正予算、条例改正などを審議しすべて可決。議員提案の意見書は1件を可決、3件を否決しました。また、11月22日に開催した第1回臨時会では令和6年度補正予算（専決処分）と総合保健福祉施設駐車場整備請負契約は可決。総合保健福祉施設備品購入契約は否決しました。

補正予算Q&A

問 物価高騰対策と低所得者への給付の考えは。

答 これまでの商品券は印刷や郵送等に時間を要するため、デジタルポイントを通じて早い時期に取り組みたい。低所得者に対する3万円の給付は3月議会に補正予算を予定している。

問 3月議会を待たずに臨時会の対応も含めて検討を。

答 国の交付金の時期も見ながら臨時会を含め努力する。

問 国の介護報酬単価が減額され全国的に訪問介護事業者が倒産している、訪問介護事業への支援が必要では。

答 しつかり吟味しながら、必要なものができる限り支援していきたい。

問 町道中溝学校線改良工事の期間と地元説明会の考えは。

答 3工区は来年2月入札の予定、3月中旬から4月に着工の予定で進めている。

地元説明会は年明けの開催に向け調整中。

問 1工区の健康福祉交流センター南側公園整備工事とは。

答 周辺の景観を含めた公園と付随する駐車場整備を計画。

問 林道鷺峰山線応急補修工事とは。

答 鷺峰山線、金胎寺に向けて崩壊している路肩の工事。

問 鷺峰山トンネル開通後の車両増加に対する安全対策は。

答 木津信楽線は沿道拡幅工事を要望中、森林整備等も含め協議している。杣田地内は15車線改良を計画、公民館前は拡幅が終了している。宇治木屋線の全線拡幅を要望していく。

問 老人福祉センターの今後の利用方法と国民健康保険診療所前の駐車場の整備は。

答 改修等を行いながら、公共施設を遊休化させないよう有意義な活用を考えていく。

健康福祉交流センターの完成に伴い、住民サービスの向上や多様化する行政課題に対応するため下記のとおり改正する。

地域力推進課	→	まちづくり応援課
福祉課	→	保健福祉課
農村振興課	→	建設農政課
建設事業課	→	環境衛生課

和東町組織条例

特別職報酬等審議会条例

令和6年度人事院勧告において地域手当の支給地域となった。給料月額との関連性が高いことから審議会の所掌事項に町長及び副町長の地域手当の額を追加する。

条例改正



役場の組織が変わります

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

人事院勧告及び一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正による。

職員の給与に関する条例

人事院勧告及び一般職の職員の給与に関する法律の一部改正による。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

職員の給与に関する条例の改定に伴い改正する。

第1回臨時会

〔一般会計補正予算〕

衆議院の解散に伴う衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査に緊急に予算補正する必要があったため

補正額 960万円

全員賛成で承認

総合保健福祉施設駐車場整備工事請負契約の締結

契約金額

6494万4000円

契約相手方

山城・宮幸特定建設工事共同企業体

賛成多数で可決

総合保健福祉施設備品（木製家具）購入契約の締結

再考を求め全会一致で否決

契約金額 1138万5000円

《審議経過》

Q 椅子1脚10万円とはあまりにも高価。庶民の感覚とかけ離れている。

A 長寿命の建築物を設計したので、内部も同様のものと考えた。

Q オーダーメイドのものを置く必要があるのか。当初からその予定だったのか。

A 各課や設計者との協議を経てオーダーメイドとした。

Q 気軽に使えて使い勝手の良いものが求められる。審議会の意見は聞いたか。

A 設計者と現場で協議し内部で検討した。基本設計の住民ヒアリングで「良い家具を」との意見があった。

Q この値段では住民の理解を得難い、再考が必要。

A 真摯に受け止める。

※以上の質疑ののち、休憩動議が出され、全員協議会で本件議案の取り扱いを協議。

意見書

第4回定例会（12月）に次のとおり意見書が提出され①の意見書は所管大臣等に送付しました。
①女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

提出者 高山豊彦 議員

可決

《賛成者8人》
《反対者0人》

②健康保険証廃止の撤回、見直しを求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

《賛成者3人》
《反対者5人》

③北陸新幹線延伸計画の中止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

《賛成者4人》
《反対者5人》

④企業団体献金の全面禁止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

《賛成者3人》
《反対者5人》

人権擁護委員の推薦について

任期満了に伴い、次の方の選任について諮問があり、選任することと答申しました。

岡田文利氏（新任）

固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴い、次の方の委員選任に同意しました。

山口勝己氏（再任）
松田義彦氏（再任）

お詫びと訂正

令和6年11月15日に発行しました「議会だより第202号」でお伝えしました、監査委員のお名前の表記に誤りがありました。

訂正し、お詫び申し上げます。
渡邊正徳氏です。

大変申し訳ございませんでした。

選挙管理委員会委員・補充員の選挙

任期満了に伴い、委員、補充員それぞれ4名を議長が指名推選され、議会で承認されました。

【委員】

小西 弘芳氏（大字湯船）
矢野 利春氏（大字園）
西辻 信夫氏（大字別所）
西島 剛氏（大字白栖）

【補充員】

宗 真也氏（大字湯船）
杉本 龍也氏（大字門前）
稲垣 公美氏（大字仙田）
久保見修一氏（大字石寺）

各議員の賛否

令和6年 第1回臨時会（11月）・第4回定例会（12月）に提出された議案のうち賛否がわかれたもの

会議区分	議案名	審議結果	議員名									
			村山一彦	宗健司	山本達也	高山豊彦	井上武津男	岡本正意	畑武志	小西啓	岡田勇	吉田哲也
臨	和東町総合保健福祉施設駐車場整備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	－
本	健康保険証廃止の撤回、見直しを求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○	×	欠	○	－
本	北陸新幹線延伸計画の中止を求める意見書	否決	○	×	○	×	×	○	×	欠	○	×
本	企業団体献金の全面禁止を求める意見書	否決	×	×	○	×	○	○	×	欠	×	－

※会議区分の、臨は臨時会、本は本会議 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席 －は採決に加わらない。
吉田哲也議長は本会議の採決に加わらないが、可否同数の場合は議長裁決する。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

12月11日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①村山 一彦 議員（6 ページ）

1. 府道5号線の天満宮出入口口に信号機設置の要請を
2. 森林環境譲与税の活用は
3. 地域計画の考えは

②高山 豊彦 議員（7 ページ）

1. それぞれの交流拠点の活用の考えは
2. 移住者対策を問う
3. 住民の利便性向上の取り組みを問う

③山本 達也 議員（8 ページ）

1. 和東町の交通網について具体的なビジョンは
2. 全町民参加型の避難訓練を実施する計画は
3. 和東町デジタル地域ポイントシステムの事業者選定の理由は
4. オープンエアミュージアム構想の中で関わりが出てくると思われる和東町活性化センターや和東の郷、旧雇用促進協議会がそれぞれ実施している、また実施していた事業の今後の関連性や方向性は

④岡本 正意 議員（9 ページ）

1. 物価高騰から暮らしを支える対策を急ぎ具体化を
2. いま、なぜ認定子ども園か
3. 子育て支援充実へ教育費無償の拡充を
4. 高齢者福祉充実へ支援強化を

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録と和東町チャンネルでご確認ください。



天満宮出入り口の府道に信号機設置 を要望していただきたい

むらやま かずひこ
村山 一彦 議員



信号機設置基準からすると難しいが交通量 増加が予測されるので要望していきたい

町長

信号機設置

問 府道5号線の天満宮出入り口に、信号機設置の要望を。理由として、①東石油店から堀健商店の間、暴走車が多い。②道路が変則で対向車が見にくい。③自転車の通行量が多くなっている。④鷲峰山トンネルが開通すれば交通量が増える。⑤過去に交通事故で2名の方が死亡されている。スピード抑止のため、信号機設置の要望を。

答 町長

信号機を設置するにあたっては複数の条件があり、質問の区間においては、交通量が比較的に少ないことから、現状では信号機設置基準を満たすことは難しい状況と考える。しかしご指摘のとおり鷲峰山トンネルの開通に伴い、交通量が増加することも予測されるので、事故等の危険性がある道路であるということを踏まえ公安や道路管理者をはじめとする関係機関に要望していきたい。

問 鷲峰山トンネルが開通すれば、交通量の増加が予測されるが府の方で交

通量の試算は出ているのか。

答 町長

聞いている数字では、今の3割増ぐらいになる。ローソンから163号線に向けては15倍ぐらいになると推測されている。

森林環境譲与税

問 2022年度末までの4年間で、2592万円配分され、2099万円が積み立てされ、基金積立率が81%となっている。2023年度末の数値はどのようなになっているのか。

答 総務課長

5年間で3564万円配分いただき、基金残高は2475万円で、積立率は69%になっている。

問 今年度から森林環境税の徴収も始まり、配分額も増えると考えますが、制約があり使いにくい。この分配金をどのように活用するのか。

答 農村振興課長
林道の維持管理、修繕や湯船森林公園の整備等に充当していく。

答 町長

府道5号線から木屋の1

63号線までの間、かなり狭隘な部分があり、この部分には人工林、それから放置林があり、こういうところにもそういう財源を充ててながら道路の環境を上げていくのも一つの手だと考えている。

問 各区の生産森林組合の法人税支払いに、環境譲与税を充てられないか。

答 農村振興課長

法人税につきましては、組織維持に係る必要経費であり、森林整備につながるものではないため充当はできない。

地域計画

問 地域計画とはどのようなものか説明願いたい。

答 農村振興課長

令和5年4月に改正された農業経営基盤強化促進法において法令化され、地域の農業者の方で将来の農地利用の姿を考え計画にするというもの。

問 農振地を一つに束ねると聞いたが実際できるのか。

答 農村振興課長

本町においてはそのような方法はそぐわない。今現在耕作している方が、2・3年後同じように耕作されている方の耕作者リストを出していただいている。

問 今農業委員は各地域に一人ということ、14名の方が就いていただいているが、全地域から出ていないと聞いているがどうか。

答 農村振興課長
現在、中区と原山区は委員がおられず、中区は東区から、原山区は湯船区から担当していただいている。

問 トンネルが開通すれば、農地の流動化が進むと考える。その際農家の人は、農業委員に相談をされると考える。農地には歴史があり同地域の農業委員は適切なアドバイスができる。絶対に同地域から農業委員を出すべきと思う。

答 農村振興課長
強く要請はしていたが、かなわなかった。次回はご協力いただけるよう頑張る。



たかやま とよひこ
高山 豊彦 議員

それぞれの交流拠点の 活用の考えは！

町長

民間活力を活用しながら状況に応じた ロードマップを考えたい

問 鷲峰山トンネルの開通や健康福祉交流センターの完成により、これまで交流の中心拠点である「和東茶力フェ」や「交流ステーション和東の郷」の活用は。

答 町長
グリーンティ和東を中心とした周辺施設を活用し和東の魅力のPR拠点として、経済を回す場所や観光の拠点になることを期待している。大阪万博開催後のインバウンド需要なども勘案しながら、行政主導ではなく民間活力、民間活躍の場を提供できるよう計画立案していきたい。

問 交流ステーションについてもその拠点として活用されるのか。

答 町長
和東茶力フェや交流ステーションについては、立ち上げ当初に町の方から一定の補助をしながら事業をしてきたが、交流ステーションも自立されることを期待している。

問 今後交流人口の増加が予想され、和東茶力フェや交流ステーションの店舗を広くする必要があるのである。

答 町長
大いに検討する課題である。新名神が遅れていることもあり、来年度に向けて状況を見ながら健康福祉交流センターの活用も含めロードマップを作成した上で検討していきたい。



健康福祉交流センター

問 「総合保健福祉施設の整備計画」に町の魅力や文化を内外に発信するシンボル拠点とある。教育委員会や各サークルの方々とも調整が必要では。

答 町長
グリーンティ和東を中心とした憩いと賑わいの場と、文化と福祉の交流の場とし

て「chanova」を活用できるようにしたい。

移住者対策を問う

問 トンネル開通により移住希望者の増加も考えられるが、受け入れ対策は。

答 町長
空き家バンクの登録物件数を増やすことが重要。昨年度から空き家開拓コーディネーターを委嘱し情報収集や契約成立のアドバイスをお願いしている。各区長様にも空き家情報の収集や空き家バンク制度の周知を図るなど努力をしている。

問 大きな家で一人住まいの方から「自分は町営住宅に入居し、家を移住希望者に活用していただけたら」との声があるが。

答 町長
町営住宅の建築趣旨から難しい。

問 新名神の開通に伴い府営住宅の建設を要請しては。

答 町長
家賃の設定を考えると難

しい。空き家を活用し人口減少の一番の原因である流出を止める魅力あるまちづくりを考えたい。

住民の利便性向上の取り組みを問う

問 町のにぎわいを維持向上するためには住民生活の利便性の向上は欠かせない。今後の買い物や移動手段の確保は。

答 町長
移動販売は、10月に委託業者を募集したが応募者がなく、再度募集するために12月補正で委託費を計上し、買い物が困難な方の支援事業として移動スーパー事業を再開したい。交通手段は、WazCarを運行しているが湯船区以外の利用が少ない状況、利用促進に努めたい。

問 利用が少ないのは運行時間や曜日など利便性に問題があるのでは。

答 町長
6月以降、徐々に課題も見えてきた。今後協議会で検討したい。

和束町の交通網について 具体的なビジョンは

やまもと たつ や
山本 達也 議員



町長

鷺峰山トンネル開通に伴い 新たな交通整備が必要

問 交通網について3年以内の具体的なビジョンは。

答 町長

鷺峰山トンネル開通により新たな交通整備が必要。京都府や（一社）京都山城地域振興社と定期観光便運行やWazCar拡充を図る。

問 高齢化が進み運転不可能な方が茶太郎も終了した中で買い物や町外近郊へのお出かけなど、現在既に困っている方々の日常生活の足をどう考えるか。

答 総務課長

高齢者の自主的な免許証返納支援で50000円分のバス乗車券を、数えて70歳の住民希望者に1万円分の乗車券を交付。バス利用の促進を図る。

問 人口の町外流出の要因のひとつである交通過疎地を解消させ町外にも範囲を広げたオリジナルオンラインデマンド交通網の具体案を示せるか。タクシー会社と協力した日本版ライドシェア

アなどに向け独自の運転技術資格制度を策定しドライバー育成も視野に。

答 総務課長

様々な関係機関との調整や準備が必要だが、WazCarを発展させ、土日祝の全域運行や玄関先までの送迎、山城病院や宇治田原方面への運行、町内外からの利用促進を図る。財政負担なども踏まえ茶源郷和束乗合交通運営協議会にて慎重に議論する。

問 全町民参加型の避難訓練を実施する計画はあるか。同じ日の同じ時間に被災した想定で全域でスムーズな避難や避難生活ができるか問題点のチェック、改修のために必要。特に要配慮者の把握と避難を想定し避難計画を立てる事も重要。以前の質問でも訴えたが未だに実施されていない。早急に実施して欲しい。

答 総務課長

区長会において自主防災組織の結成を強く呼びかけ、結成組織には防災訓練の費用に使う補助金交付。自分

たちの地域は自分たちで守る、住民も消防団とも互いに協力して防災活動を行う組織作りを強化したい。また全区参加型の避難訓練も体制を整え実施を検討。



昨年の初出式

問 和束町デジタル地域ポイントシステムの事業者選定の理由は、非常に短期でホームページに点数と業者名のみ掲載されたがすぐに消えた。総務課で内容を閲覧できる事もアナウンスされていない。プロポーザル（一般公募）という言葉に不明瞭さを感じる住民も多いと聞くのでもっとガラス張りにするべき。

答 総務課長

和束町デジタル地域ポイントシステム構築業務委託

事業者選定委員会にて本業務を最も的確に遂行できる事業者を選定。約2週間ホームページに内容掲載したがその後総務課で内容を閲覧できるアナウンスはしていない。ホームページ上で閲覧可能の周知をする。

問 オープンエアミュージアム構想の中で関わりが出てくると思われる和束町活性化センターや和束の郷、旧雇用促進協議会がそれぞれ実施している、また実施していた事業の今後の関連性や方向性は。役場の中で新たな部署や新たな担当が関わるのか。

答 農村振興課長

現在は農村振興課が担当。グリーンティ和束周辺施設を含めたエリアー帯を中心に展開。農家レストランの誘致、宿泊施設の整備や宿泊場所の確保など町内滞在時間を延ばす事を目的にしている。第5次総合計画に基づいて進めていく。



おかもと しょうい
岡本 正意 議員

物価高騰から暮らし支える対策を 急ぎ具体化を

町長 早期に進め、全住民に届く支援を考えたい

問 早期に全住民に届く支援実施へ町の考えは。

答 町長

早期対応に向け進めていく。全住民に不公平感がない支援を考えたい。

問 水道料金減免を今こそ実施を。

答 町長

検討の一つと考えている。

今、なぜ認定こども園か

問 保育所の認定こども園化は決めたのか。時期や運営方式は。

答 町長

時期、形態も含め調査段階。保護者等の意見も聞き検討したい。

問 移行ありきではなく選択肢の一つで良いか。

答 福祉課長

選択肢の一つと考え可否は町長の判断。

問 運営主体は町なのか。東部連合もあるのか。

答 町長

選択肢として東部連合もあり得る。

問 保育内容はどう変わるのか。

答 福祉課長

満3歳以上で保育の必要性がなくても入所が可能に。

問 今でも町の判断で対応可能では。

答 福祉課長

入所は可能。

問 幼児教育も現行でも出来るのでは。

答 町長

その通りだが、違う手法手段で取り組みたい。



保育園は子どもの生活と発達保障の場

問 以前「早い段階から高度な教育が出来る」と答弁していたが内容は。

答 町長

読み書きや英会話、ピアノ

ノ等の「高度な教育」を就学前から習慣づける考え方。

問 「子どもが権利の主体」「最善の利益を優先する」との「子どもの権利条約」の視点の認識は。

答 町長

早い時期から様々な経験をする。

子育て支援充実へ教育費無償の拡充を

問 高校生通学補助拡充へ、バス定期代の全額補助、鉄道定期代も補助を

答 町長

利用が少なく補助拡充の財源確保は困難。

問 若者の流出にもつながっている高いバス通学費をまず無償に。

答 町長

バス利用を前提にその上で検討する。

問 小中学校や高校入学時負担の無償化、軽減を。

答 町長

連合3町村で議論、協議したい。

問 笠置では小中高入学時の支援を既に実施。和束でも検討を。

答 町長

検討の一つ。時期、方法を考えたい。

高齢者福祉充実へ支援強化を

問 社協の訪問介護事業への公的支援を

答 町長

現状は認識している。努力したい。

問 社協への委託・補助事業への支援強化を

答 福祉課長

社協や町財政とも協議、検討したい。

問 シルバー人材センターの早期開設を

答 福祉課長

設立準備室を設置し進めていきたい。

問 開設の時期は。

答 福祉課長

早ければ7年度開設も可能だが明言できない。

総務厚生常任委員会

ふるさと納税は
昨年比1.7倍に

畑井上・山本
小西・村山

令和6年12月2日、令和6年度事業執行状況等について事務調査を行った。

冒頭、理事から総合保健福祉施設建設工事は11月末現在の工事進捗率は91%との報告があり、午後からその状況を調査した。

総務課

○B&G和東海洋センターの照明設備LED化が完了した。

○9月に補正予算が組まれたデジタル地域ポイント事業の業務委託先がプロポーザルによって決定された。

税住民課

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業は各地域のふれあいサロンで健康相談を行う。

○価格高騰緊急支援給付事業は、調整給付金分は601人、2513万円

「新たな非課税・均等割のみ」は80世帯に800万円、子ども加算給付金は9人に4万5000円を給付した。

福祉課

○児童手当給付事業は10月に制度改正があり、12月以降偶数月に支給される。

委員からの意見や質問

問 寄附金の状況は。

答 昨年同時期より70万円上回っている。

問 デジタル地域ポイント事業はいつから実施するのか。

答 2月頃に運用テストし、

3月にサービス開始する。

問 海洋センターの利用者で町外の方はどういう活動をされているのか。

答 スポーツの利用が圧倒的に多い。



海洋センター裏側の状況

問 海洋センターの周辺樹木が成長し、落ち葉など支障もある。

答 森のような状況になっているところもある。もう少しすっきりするよう、来年度に予算計上したい。

一部事務組合議会・広域連合議会報告

相楽広域行政組合議会

令和6年第2回定例会

日時 11月26日午後1時30分

内容

・相楽会館改築期間中における市民サービスの維持や火葬場・霊園について2名の議員が一般質問。

・令和5年度一般会計歳入歳出決算は、全員の賛成で認定。

歳入総額 2億9368万4929円

歳出総額 2億7932万7035円

・組合職員の給与条例の一部改正、会計年度任用職員の給与等条例の一部改正、令和6年度一般会計補正予算（637万3000円の追加）、いずれも全員の賛成で可決。

相楽中部消防組合議会

令和6年第2回定例会

日時 11月26日午前10時5分

内容

・消防賞じゅつ金等審査委員会委員に西昭夫議員（笠置町）を選出。

・表彰審査委員会委員に山本麻也議員（笠置町）を選出。

・令和5年度一般会計歳入歳出決算は賛成多数で可決。

歳入総額 32億5831万0095円

歳出総額 32億0239万8664円

・会計年度任用職員の給与等条例の一部改正、組合職員の給与条例の一部改正は全員の賛成で可決。

・新庁舎建築備品（事務関係）の買入れ、令和6年度一般会計補正予算（5億8972万円の減額）は賛成多数で可決。

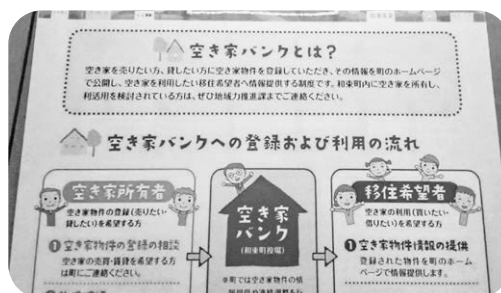
- ・石寺橋架け替え工事に関連した堀尾橋、西谷橋、東出橋の補強工事の内容、通行止めにもなう迂回等の住民周知について
- ・文化的景観保護推進事業の方向性。
- ・重点支援地方交付金を活用した事業の予定。
- ・中和東、西和東での移住特区申請にむけて。
- ・空家の提供者、移住希望



町道中溝学校線工事

- ・者双方にメリットとなる対策。
- ・公的住宅の整備、供給の方向性。
- ・驚峰山トンネル開通にもなう交通量増加への対策。
- ・今後のごみ処理や受け入れ先の検討状況。
- ・保健福祉施設の進入道路と府道の交差点での信号機設置は。

【現地調査―移住・定住促進事業】
地域力推進課長から空家バンク制度の説明、事業担当者から空家の掘り起こしや確保、移住者の傾向や、登録数が不足し、需要に供給が追い付いていない、8割が売却契約だが、賃貸を望むケースが多いなどの報告があった。資金調達面でのサポートや町ホームページ等での情報発信の改善、移住後のサポート等について意見交換の後、登録されている空き家の見学を行った。



空き家の利活用を

一部事務組合議会・広域連合議会報告

山城病院組合議会

令和6年第2回定例会

日時 11月25日午前9時30分
内容

- ・組合副議長に由本好史議員（笠置町）が当選、議会運営委員会委員に西朋子議員（笠置町）を選任。
- ・入院に際しての保証人や説明、ハラスメント対策と対応、マイナ保険証について、2名の議員が一般質問。
- ・公平委員に、引き続き安井恒夫氏を選任することに全員の賛成で同意。
- ・令和5年度病院事業会計決算（2億572万96886円の純損失）、令和5年度介護老人保健施設事業会計決算（155万5138円の純損失）は、全員の賛成で認定。
- ・組合職員の定年等に関する条例の一部改正（医師の役職定年を65歳に設定する）は、全員の賛成で可決。

相楽東部広域連合議会

令和6年第3回定例会

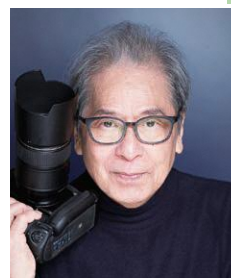
日時 12月9日午前9時30分
内容

- ・議長に西昭夫議員（笠置町）が当選。
- ・和東小学校の法面の草刈や小中学生の携帯電話の使用、学校健診、関西・大阪万博への対応、擁壁安全対策工事などについて、3名の議員が一般質問。
- ・令和5年度一般会計決算は全員の賛成で認定。
歳入総額 7億5492万99765円
歳出総額 7億3629万96999円
- ・令和6年度一般会計補正予算（専決で333万3000円の追加）、会計年度任用職員の給与及び費用弁償条例の一部改正、令和6年度一般会計補正予算（668万10000円の追加）は、全員の賛成で可決。
- ・「監査委員」・「相楽東部地域公平委員会委員」の選任は、全員の賛成で同意。



様々な方に、和東の「いいとこ」を語っていただく新しいシリーズ「いいとこ和東 私の推し」。今回は、移住されて4年目を迎える、写真家の伊東ひさしさんです。

伊東さんのホームページ (<https://hisashi-ito.com>) にプロフィールや作品などが掲載されています。



Q なぜ写真家を目指されたのですか？

当初グラフィックデザインを職業としていましたが、自ら写真撮影技術の研究を始め、独学で習得をしました。ある世界的音楽イベントとの関わりをきっかけに国内外アーティスト撮影の仕事が広がり、自身の愛する音楽と結びついたことで、自然な流れで写真が職業になりました。今後は、和東を拠点に作品を発信したいと考えています。

Q 和東町に来られたきっかけや、移住先に和東町を選ばれた理由は？

横浜に居ましたが、京都が好きで移住先を探し始めました。ある日、ドライブ中に和東への表示が目に入り向かいました。途中、峠の細い道に不安を抱えながらも、和東に入ると眩い陽光と茶畑が広がり、気持ちの落ち着きを感じました。

移住宅前の景色は他所にはない風情があり、ゆったりとした環境で構想が膨らみ、夢の広がる地域だと思いました。

Q 移住前と移住後で和東町のイメージは変わりましたか？

第一印象は今も変わりありませんが、地元の方々から温かく迎えていただき、感謝しています。車がないと不便な面はありますが。今ではすっかり慣れ、奈良にも近く度々足を運ん

でいます。歴史と文化を継承しながら過ごせる和東がとても好きです。安積親王陵にも折に触れ訪れます。

「私の推し」は、
こころ落ち着く、
ゆとり育む「環境」

Q 伊東さんにとっての「推し」は何ですか？

何といっても「環境」です。空気が美味しいだけでなく、鶯のさえずり、蛙の合唱、赤とんぼが空を赤くし飛び交う様子、夜空の美しさ、柿の木のある自然豊かな風景。そして、和東といえば茶畑ですね。それらの「環境」すべてが「推し」です。何よりここは、ゆとりある心を育ててくれます。

(取材 岡本正意)



撮影 伊東ひさし氏

第1回定例会は、3月上旬開催予定。

委員長	高 山 豊彦
副委員長	岡 本 正意
委員	山 本 達也
委員	畑 武 志
委員	小 西 啓

広報編集委員会

(小西 啓)

立春も過ぎ、暦の上では春ですが、寒い日はまだまだ続きます。住民のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。

議会だより第203号をお届けします。この号が届くころは、二十四節気の一つ、雨水(今年2月19日)。雪から雨へと変わり、降り積もった雪もとけだす頃とされます。まだまだ雪の降る日はあるでしょうが、これからの雪は水分を多く含むようになります。やはり確実に季節は春に向かっています。

議会だよりの編集は、全議員が任期中に一度は携わることになっているため、現在のメンバーで発行するのはこの号で最後。定例会ごとに、どんな議論が交わされ、町の意思形成がされてきたのか、お伝えしてきましたが、みなさまにどのように届いたでしょうか。町政に関心を持っていただきたいと思います。

編集後記